

ベジタリアンフェスティバル 2008

EVENT
10.5
(Sun)

京都議定書だけじゃない。
「エコな食」でも世界をリードする京都を体感。

最近、「やっば野菜でしょ」みたいなことになってますわな。肉食ってちゃんだからエコじゃない、ベジタリアンってちょっといいかもめのムード。カフェにはそんな雰囲気ベジやオシャレベジ向けメニューも登場しているが…。いやー甘い甘い。6年目を迎えるこのベジフェスは卵・乳製品も拒否の「ビーガン」ベジタリアンによる、筋金入りの祭。去年は飲食、グッズ、団体の活動広報など約100のブースが参加、6000人以上を動員。なんと日本で一番大規模なベジフェスだ。

戦、動物実験に反対する団体のアピールも盛り込まれ、単なる和み系イベントではないところ。着るもの、住む場所と同様、何を食べるかということも表現だし文化だ。生き物の権利を考え、環境破壊や地球温暖化に対抗する食文化・ベジタリアンの主張をたっぷり体感。京都議定書だけでなく、食をめぐる環境へのアピールでも世界をリードする街・京都を誇ろう。

(沢田眉香子)

このフェスのクールなところは、食を通じて反

- 「ベジタリアンフェスティバル」
- 10.5 (Sun) 10:00~ (雨天決行)
- 岡崎公園 (平安神宮前)
- http://www.vegetarianfestival.jp/



ベジタリアン フェスティバル
Vegetarian Festival
2008
2008/10/5 (SUN) 10:00~17:00
京都府京都市 平安神宮前 岡崎公園
Kyoto Okazaki Park (Just south from Heian Jingu)
入場無料 Admission Free
雨天決行 Rain or Shine

京都府を代表する、またまたトップオブベジタリアンフェスティバルに開催される。食文化、環境問題、動物実験に反対する団体のアピールも盛り込まれ、単なる和み系イベントではないところ。着るもの、住む場所と同様、何を食べるかということも表現だし文化だ。生き物の権利を考え、環境破壊や地球温暖化に対抗する食文化・ベジタリアンの主張をたっぷり体感。京都議定書だけでなく、食をめぐる環境へのアピールでも世界をリードする街・京都を誇ろう。

京都府を代表する、またまたトップオブベジタリアンフェスティバルに開催される。食文化、環境問題、動物実験に反対する団体のアピールも盛り込まれ、単なる和み系イベントではないところ。着るもの、住む場所と同様、何を食べるかということも表現だし文化だ。生き物の権利を考え、環境破壊や地球温暖化に対抗する食文化・ベジタリアンの主張をたっぷり体感。京都議定書だけでなく、食をめぐる環境へのアピールでも世界をリードする街・京都を誇ろう。

京都府を代表する、またまたトップオブベジタリアンフェスティバルに開催される。食文化、環境問題、動物実験に反対する団体のアピールも盛り込まれ、単なる和み系イベントではないところ。着るもの、住む場所と同様、何を食べるかということも表現だし文化だ。生き物の権利を考え、環境破壊や地球温暖化に対抗する食文化・ベジタリアンの主張をたっぷり体感。京都議定書だけでなく、食をめぐる環境へのアピールでも世界をリードする街・京都を誇ろう。

京の華舞台

EVENT
10.17 (Fri)
25 (Sat)

もろもろご意見もおありでしょうが、
スケールメリットはサスガなんだなあ。

行政主導のイベントというのは、対象(年齢とか性別とか)が実に幅広く、逆に言えばピンポイントなイベントが打ちにくいわけであるが、そんな中で、おこがましい物言いになるが、「がんばりつちなあ」というのが同イベントだ。

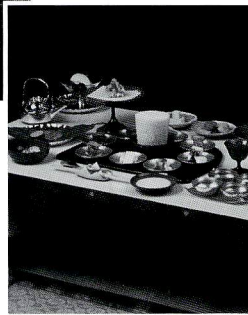
再現 (MC久米村直子、琵琶奏者・川村旭芳、講演山本淳子という離れ業)。

「つじあやの&…なら、なんで茂山宗彦ちゃんの?」「十二単の試着は? 王朝料理の試食は?」てな疑問もあるだろうが、それは今後に期待するとして、例えば、最近対応が柔軟になっている「寺院が会場」という流れを見るだけでも一見の価値はあるし、スケールメリットは他が羨むところ、だしね。

(竹中 聡/本誌)

全4回のうち、残りは「参の宴」「四の宴」の2回。前者は知恩院で茂山千五郎・正邦・正邦&つじあやのというE難度ブック、後者は源氏物語にちなみ、廬山寺で十二単の展示、平安王朝料理の

- 「京の華舞台」 10.17 (Fri) 「参の宴」@知恩院御影堂
OPEN18:30 START19:00 前売り4000円 当日4500円
- 10.25 (Sat) 「四の宴」@廬山寺 OPEN18:00~展示品見学 18:40~雅楽器演奏
前売り3800円 当日4300円
- 問い合わせ 075-661-3755(京都いつでもコール) http://www.k-af.com
- チケットぴあ0570-02-9999 ローソンチケット0570-084-005



「一人」「クルマ」が「街」でうまく共存するため

ハイブリッドカーがモーター駆動で走行する時、エンジン音がしないので歩行者が気付かず事故になるケースが発生し、今後はクルマから音を発する装置の開発を検討するという。静かすぎて「困る」とは、長年、静粛性を追求してきた自動車業界に身を置く私にとっては驚きのニュースだ。確かに、ipodなどを耳にしている歩行者や自転車もクルマで通過する時もこちらの存在に気付いているのかどうかドライバーとしては神経質になるものだ。つまりクルマから「音」がなければ、かえって危ない、ということだ。そう考えると、「一人」「クルマ」が「街」でうまく共存するため

「クルマはとって、ときどき音は、
オイルよりも重要」

の媒介のところが、「音」である、とも言えるだろう。



Kyoto Car-Moratorium

~京都人のクルマ知らず~



18th Lap



中島崇 (なかじま たか)

68年生、自称「クルマのソムリエ」。創業昭和38年、北区は紫野の自動車屋・株中島商會の二代目社長にして「安くていい車を探そう」という志を掲げ、かつて自動車オークションの取引額300万円をトップに推し、大失敗の連続から半端なウラハをまとめた無料小冊子「その手に手を出すな!」も好評。中島流「車道家元」を目指す京都人。

© QUATRE ILLUSTRATION